

蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成23年7月

和歌山県立和歌山西高等学校



☆ 高校生活、もっともっと充実を

7月12日（火）に生徒総会を開きました。学校長から統合に伴う校名の件について説明があった後、昼休み中の音楽や球技大会、生徒ホールのメニュー、特別教室へのエアコン設置等について先生方と話し合いました。要望事項のほとんどが継続という形で、今後も相談していくことになりました。また、3年生から「文化祭の模擬店の売り上げを東日本大震災に寄付したい」との要望も出ました。これからも充実した高校生活を過ごせるよう、みんなで力を合わせていきたいと思ひます。

☆ 猛暑で青春の1ページ

7月14日（木）、高校野球県大会1回戦で日高高校と試合を行いました。応援団も2ヶ月前から結成、中でも楽器メンバーは全員初心者でしたが、しっかりと練習を重ねて本番にのぞみました。結果は残念でしたが、猛暑の中、心をひとつに取り組んだことは、きっと生徒達の大切な青春の1ページとなったことでしょう。



☆ 子ども達の笑顔を目標に

7月14日（木）から3日間、よみかたりボランティア養成講座を実施しました（参加生徒数6名）。絵本や紙芝居の魅力や持ち方・演じ方等を学び、最終日には各自が発表しました。絵本のよみかたりを楽しそうにきく生徒や、お気に入りの本を見つけた生徒、ボランティアに出向くのを楽しみにしている生徒等さまざまな様子が見受けられました。よみかたりは、秋頃に幼稚園にて実践する予定です。

七夕にちなんでコモンホールに笹と短冊を用意しました。生徒や職員が願いごと（？）を書いて飾っていました。

その後、
射 箭 頭 八 幡
神 社 に 奉 納
し ました。

